

～富山学区連合町内会からのお知らせ～

富山学区は「災害に強い町」を推進しています

今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は70～80%、富山学区の予想震度は6弱～5強です。「岡山は大丈夫」の考えを変えて、いざという時のために『自助－自分で身を守る』準備を進めましょう。

準備したいこと、決めておきたいことは以下のような内容です。

- ・揺れが来たとき最初にどう行動するか、を決めておく
緊急地震速報から10秒以内の揺れは南海トラフ地震でなく近くの震源
緊急地震速報から約20秒後の揺れ→震源は南海トラフの可能性が高い
揺れが始まって1分たっても収まらない→M8以上の巨大地震の可能性大
- ・避難場所を知り、家族で決めておく⇒防災マップで確認
- ・危険箇所を知り、避難経路を決めておく⇒防災マップを利用して
- ・いざという時の家族の連絡方法を決めておく⇒防災マップに記入、各自持つ
- ・非常持出品をすぐ持ち出せる場所に準備⇒防災パンフ、岡山市防災マニュアル
現金（10円硬貨も）、健康保険証コピー、通帳などコピー、懐中電灯、
携帯ラジオ、非常食（アルファ化米、缶詰など）、飲料水、
救急医薬品（絆創膏、包帯など）、生活用品（下着、靴下、軍手など）
- ・家具転倒防止器具を設置する⇒防災パンフ、岡山市防災マニュアル
震度6弱では固定していない家具、電気製品の大半が移動し倒れるものも。
家具転倒防止プレート、伸縮棒、ガラス飛散防止フィルム、開き戸ストッパー、
家具連結器具、テレビ・電子レンジ等小型家具転倒防止器具などを設置
- ・火災警報器を設置する（条例で義務化されている）⇒防災パンフ

また、各地の公会堂を会場に、市危機管理課による講演と危機意識アップ、非常食を知ることがを目的に、防災講習会を開催しています。富山学区の予測される災害の規模を知り、防災準備は何が必要かなどを知る機会です。開催されたときは是非参加してください。

（文：連合町内会）